



De Parte del
Pueblo Japonés

令和 2 年度

草の根・人間の安全保障無償資金協力

マタガルパ市地域病院改善計画



(左から サドラック・セレドン市長、鈴木大使、エラスモ・ハルキン・アラウス保健省マタガルパ支部長、アラセリ・フェルナンデス県幹事長、フアン・マウリシオ・カスティージョ EDUCO 代表)

2021 年 10 月 29 日、マタガルパ市のセサル・アマドール・モリナ地域病院において、「マタガルパ市地域病院改善計画」により整備された医療機器の供与式が執り行われました。NGO の EDUCO 基金を通じて、人工呼吸器、保育器、胎児モニター、生体情報モニター、および緊急医療室から集中治療室までの救急ラインの空調設備を整備することで、一般患者および救急患者に対する医療の質が改善されることが期待されます。

マウリシオ・カスティージョ代表は、本件支援は、新型コロナウイルス対応上非常に重要で、県民の救命に繋がるとして謝意を述べました。サドラック・セレドン市長は、日本はニカラグアが窮地に立つときはいつも国民を見放すことなく手を差し伸べてくれる、今回のように国民の救命に資する医療機器の供与に深く感謝していると述べました。

鈴木大使は、日本は保健医療分野を重視し、新型コロナウイルスのパンデミックの中でも誰一人取り残されないように積極的に国際支援を実施しており、ニカラグアでは保健省に対するワクチンのコールドチェーンの整備や Covax ファシリティへの貢献、また昭憲皇太后基金によるニカラグア赤十字社を通じた高齢者への感染対策支援も実施している旨に言及しつつ、本件支援により、救急医療体制が改善され、病院関係者の適切な機器の使用、維持管理によって長期的に地域住民の救命活動に貢献できることを願いますと述べました。



アラセリ・フェルナンデス県幹事長と鈴木大使による除幕



マタガルパ市地域病院のヘンリー・ダビラ・グティエレス院長と保育器



マタガルパ地域病院に整備された機材